

## 2 目標達成計画

作成日：平成 22 年 4 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |                                                   |                                            |                                            |            |
|----------|------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題                                      | 目標                                         | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                         | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 23   | 利用者を理論的に分析できることが、今後より必要になる。現状だと、利用者のニーズに応えきれていない。 | 職員個々が、目的意識を持って仕事ができるようスキルアップをはかる。          | 定期的な勉強会の開催で、1つのテーマに沿った学習と各々の考えを理解する場を実施する。 | 1年         |
| 2        | 34   | 利用者の急変・事故時の対応に多くの職員が的確に対応できるかに不安がある。              | 急変・事故時にスムーズに対応できるようになる。                    | 急変・事故時の実技練習。マニュアル・緊急時対応表の見直し。              | 1年         |
| 3        | 2    | 地域とのつきあいが少ない。                                     | グループホームとはどういうところかをお話する機会を作り、交流できる関係を作っていく。 | 地区の班長等とお話し、地域の行事(神社お祭り等)への参加の足がかりを作る。      | 1年         |
| 4        | 35   | 避難訓練の回数が少なく、災害時に職員・入居者が円滑に動けない可能性が高い。             | 災害時に円滑に動けるようになる。                           | 避難訓練を年2回行う。災害時対応の勉強会を開く。                   | 1年         |
| 5        |      |                                                   |                                            |                                            |            |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。